

米子水鳥公園

レンジャー通信

水鳥公園の指導員(レンジャー)によるさまざまな活動をご紹介します。

〒米子水鳥公園 (☎24-6139、FAX24-6140)



鳥の衣替えを観察しよう!

皆さんは、鳥たちも私たち人間と同じく、季節に応じて衣替えをするのをご存じでしょうか。

一般的に、鳥は冬の姿を冬羽、夏の姿を夏羽と呼び、春と秋に衣替え(換羽)をします。例えばカモ類のオスは、冬に派手な姿をしていて、夏はメスとよく似た地味な姿をしています。

5月は、ちょうど鳥たちの冬羽から夏羽への換羽の季節です。ネイチャーセンター前に集まっているカモたちを日々観察すると、派手だった雄が少しずつ地味な姿へと変わっていく過程が分かります。



冬羽のツルシギ
(2019年4月5日撮影)



ほぼ夏羽に換羽したツルシギ
(2019年5月4日撮影)

※左上の写真と同じ個体とは限りません。

一方、冬羽から夏羽に変わると、色鮮やかな姿になる鳥も多くいます。例えばツルシギは、春に渡ってきた時はまだ灰色で脚が赤い冬羽です。しかし、水鳥公園に滞在中に、少しずつ艶のある黒い羽毛が生えてきて、日に日に全身が灰色から黒色へ変わっていきます。そして全身が黒く、脚も黒っぽい夏羽に変身します。特に昨年の春は、ツルシギが毎日ネイチャーセンター目の前にやってきてくれたので、換羽の過程をじっくり観察できました。

皆さんも、春の水鳥公園にこまめに通って、鳥たちの換羽の様子を観察してみてくださいいかがですか。

米子水鳥公園専任指導員 桐原 佳介

美術館通信

第60回記念米子市美術展覧会に あなたの作品を出品してみませんか?

「市展」は、広く市民の皆さんから美術作品を募る公募展です。若手からベテランまで、皆さんが日頃の成果を発表するとともに、新しい才能をいち早く鑑賞できる機会です。優秀作品には賞状と副賞が贈られます。意欲あふれる皆さんの出品をお待ちしています!

【出品について】

- 作品受付(搬入) 6月21日(日) 午前10時~午後4時
- 部門 洋画(油彩画、水彩画、版画、デザイン)・日本画(水墨画含む)・書道・写真・工芸・彫刻

■搬入場所 米子市美術館

■出品料 1部門1点につき1,000円(高校生は無料)

※くわしくは市内各公民館や画材店などで配布している開催要項や、米子市美術館ホームページをご確認ください。

【展覧会】

■会期 6月26日(金)~7月4日(土) [会期中無休]

■会場 米子市美術館

■観覧料 無料

☎米子市美術館 (☎34-2424、FAX33-0679)

米子市展



昨年の市展会場風景